【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和3年4月22日(2021.4.22)

【公表番号】特表2020-517360(P2020-517360A)
【公表日】令和2年6月18日(2020.6.18)
【年通号数】公開・登録公報2020-024
【出願番号】特願2019-557568(P2019-557568)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｌ　2/07　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｌ　2/07

【手続補正書】
【提出日】令和3年3月12日(2021.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの低細菌液を導管システム（１１０）から取り出すための取出装置（１１２）であって、前記取出装置（１１２）が、少なくとも１つの取出接続部材（１４６）を備え、少なくとも１つの連結ベンド（１５６）をさらに備え、前記連結ベンド（１５６）は、前記取出接続部材（１４６）に、取り外し可能に接続され、前記取出接続部材（１４６）の少なくとも１つの管端部（１５４）は、前記連結ベンド（１５６）の内部（１５８）に突出し、純粋蒸気を用いて、前記連結ベンド（１５６）内で、その内面（１８０）、その外面（１７４）およびその端面（１７８）上で殺菌可能である、取出装置（１１２）。
【請求項２】
前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）は、前記連結ベンド（１５６）の内壁（１７２）により環状に包囲され、前記管端部（１５４）は、前記内壁（１７２）と前記管端部（１５４）との間に環状間隙（１７６）が形成され、環状間隙（１７６）内に前記純粋蒸気が入り込み得るように、前記内壁（１７２）から離間される、請求項１記載の取出装置（１１２）。
【請求項３】
前記取出接続部材（１４６）は、管状構成であり、内径を有し、前記連結ベンド（１５６）は、管状構成であり、内径を有する、請求項１または２記載の取出装置（１１２）。
【請求項４】
前記取出接続部材（１４６）の前記内径は、３ｍｍ～４０ｍｍである、請求項３記載の取出装置（１１２）。
【請求項５】
前記取出接続部材（１４６）の前記内径は、１０ｍｍ～２０ｍｍである、請求項３記載の取出装置（１１２）。
【請求項６】
前記連結ベンド（１５６）の前記内径は、４ｍｍ～５０ｍｍである、請求項３～５のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項７】
前記連結ベンド（１５６）の前記内径は、１１ｍｍ～４２ｍｍである、請求項３～５のい

ずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項８】
前記連結ベンド（１５６）は、少なくとも部分的に二重壁構成を有する、請求項１～７のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項９】
前記連結ベンド（１５６）は、少なくとも、前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）が突出する領域において、二重壁構成を有する、請求項８記載の取出装置（１１２）。
【請求項１０】
前記二重壁構成は、前記連結ベンド（１５６）の外径よりも大きい内径を有し、前記連結ベンド（１５６）に押し当てられる少なくとも１つの外側スリーブによって生成される、請求項８または９記載の取出装置（１１２）。
【請求項１１】
前記外側スリーブは、前記連結ベンド（１５６）に溶接される、請求項１０記載の取出装置（１１２）。
【請求項１２】
前記取出接続部材（１４６）は、Ｌ字形状であり、前記連結ベンド（１５６）は、接続された状態の前記取出接続部材（１４６）と前記連結ベンド（１５６）とを備える前記取出装置（１１２）が、全体としてＵ字状構成を有するように、Ｌ字形状である、請求項１～１１のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項１３】
前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）の前記端面（１７８）は、前記管端部（１５４）の管軸に対して傾斜する、請求項１～１２のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項１４】
前記連結ベンド（１５６）は、管部分として構成され、前記管部分の第１開口部は、前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）を受容し、前記管部分の第２開口部は、前記管部分を通って前記第２開口部から前記第１開口部へと純粋蒸気が通過し、そこで前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）を純粋蒸気が殺菌し得るように、純粋蒸気に曝され得る、請求項１～１３のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項１５】
前記管部分は、Ｌ字形状に屈曲される、請求項１４記載の取出装置（１１２）。
【請求項１６】
前記連結ベンド（１５６）は、ねじ接続により、前記取出接続部材（１４６）に取り外し可能に接続される、請求項１～１５のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項１７】
前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）は、０．８マイクロメートル以下の表面粗さＲＡを有する、請求項１～１６のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項１８】
前記取出装置（１１２）は、制御ユニット（１９０）への接続のため、および前記連結ベンド（１５６）が前記取出接続部材（１４６）に接続されている状態を検出するための、前記連結ベンド（１５６）に接続される電気接点（１８８）をさらに有する、請求項１～１７のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）。
【請求項１９】
少なくとも１つの低細菌液を利用可能にするための導管システム（１１０）であって、前記導管システム（１１０）が、前記低細菌液のための少なくとも１つのパイプシステム（１１８）を備え、少なくとも１つの、請求項１～１８のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）をさらに備え、前記取出装置（１１２）は、前記パイプシステム（１１８）に接続される、導管システム（１１０）。
【請求項２０】

前記導管システム（１１０）は、前記低細菌液を受容するための少なくとも１つの容器（１１６）をさらに有し、前記容器（１１６）は、前記パイプシステム（１１８）に接続される、請求項１９記載の導管システム（１１０）。
【請求項２１】
前記パイプシステム（１１８）は、環状構成であり、少なくとも１つのポンプ（１２２）を有し、前記ポンプ（１２２）は、前記パイプシステム（１１８）および前記容器（１１６）を通る循環内で前記低細菌液を送り出すように設計される、請求項２０記載の導管システム（１１０）。
【請求項２２】
前記パイプシステム（１１８）は、少なくとも１つの分岐部（１２８）を有し、前記分岐部（１２８）は、前記取出装置（１１２）に接続される、請求項１９～２１のいずれか１項に記載の導管システム（１１０）。
【請求項２３】
純粋蒸気のための少なくとも１つの供給部（１３４）は、前記連結ベンド（１５６）内で前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）を殺菌するために、前記供給部（１３４）から、前記取出接続部材（１４６）を通り、前記連結ベンド（１５６）内へと純粋蒸気が運搬可能であるように、前記分岐部（１２８）と前記取出装置（１１２）との間に配置される、請求項２２記載の導管システム（１１０）。
【請求項２４】
前記導管システム（１１０）は、少なくとも１つの制御ユニット（１９０）をさらに有し、前記制御ユニット（１９０）は、少なくとも１つの電気接点（１８８）を介して前記連結ベンド（１５６）に接続可能であり、前記連結ベンド（１５６）が前記取出接続部材（１４６）に接続されているかどうかを検出するように設計され、前記制御ユニット（１９０）は、前記連結ベンド（１５６）が前記取出接続部材（１４６）に接続されるときにのみ、純粋蒸気を利用可能にし、それ以外の場合は、純粋蒸気が利用可能とされることを防止するようにさらに設計される、請求項１９～２３のいずれか１項に記載の導管システム（１１０）。
【請求項２５】
前記連結ベンド（１５６）は、前記取出接続部材（１４６）から離れる方向の端部（１６０）にて、少なくとも１つの流出部（１４２）に接続される、請求項１９～２４のいずれか１項に記載の導管システム（１１０）。
【請求項２６】
少なくとも１つの低細菌液を導管システム（１１０）から取り出すための方法であって、
ａ）請求項１９～２５のいずれか１項に記載の導管システム（１１０）を利用可能にするステップと、
ｂ）純粋蒸気を前記連結ベンド（１５６）内に導入し、前記取出接続部材（１４６）の前記管端部（１５４）を、前記管端部（１５４）の周りを前記純粋蒸気で洗浄することによって、前記連結ベンド（１５６）の前記内部（１５８）にて殺菌するステップと、
ｃ）前記連結ベンド（１５６）を前記取出接続部材（１４６）から解放して、取り外すステップと、
ｄ）前記低細菌液を前記取出接続部材（１４６）から取り出すステップと
を含む方法。
【請求項２７】
導管システム（１１０）から少なくとも１つの低細菌液を取り出すための、請求項１～１８のいずれか１項に記載の取出装置（１１２）の使用。